

議会だより

千早赤阪

一般質問

千福 清英

買い物等困難者対策は
上下水道管の老朽化対策は

関口 ほづみ

コロナウイルス感染防止策の対応について
地域公共交通の充実に向けて

藤浦 稔

土砂災害対策について
森林整備の促進について

山形 研介

新・山中八策の
新たな挑戦の成果は

田村 陽

遊休財産の有効利用を
地域おこし協力隊の活動は

井上 浩一

災害等、非常時の対応を考える
SDGsの理解と推進

vol. 132
May 2020
3月定例会

3月定例会 議決結果

○賛否の分かれた議案

各議員の審議結果 ○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席 議…議長のため賛否なし	結 果	田中 博治	関口 ほづみ	井上 浩一	田村 陽	千福 清英	藤浦 稔	山形 研介
・令和2年度千早赤阪村一般会計予算	原案可決	議	●	○	○	○	○	○

○全会一致で同意された案件

・副村長の選任について
・固定資産評価審査委員会委員の選任について

○全会一致で可決された議案

・千早赤阪村公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例制定について
・千早赤阪村印鑑条例の改正について
・千早赤阪村職員定数条例の改正について
・千早赤阪村報酬及び費用弁償条例の改正について
・千早赤阪村会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の改正について
・千早赤阪村立いきいきサロン設置条例の改正について
・河南町、太子町及び千早赤阪村介護認定審査会共同設置規約の変更に関する協議について
・令和元年度千早赤阪村一般会計補正予算（第12号）
・令和元年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
・令和元年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算（第3号）
・令和元年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
・令和元年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算（第3号）
・令和2年度千早赤阪村国民健康保険特別会計予算
・令和2年度千早赤阪村介護保険特別会計予算
・令和2年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計予算
・令和2年度千早赤阪村下水道事業特別会計予算
・令和2年度千早赤阪村金剛山観光事業特別会計予算
・令和元年度千早赤阪村一般会計補正予算（第13号）
・新たな過疎対策法の制定に関する意見書について

意見書採択

3月24日の最終日において意見書が採択され、関係する機関へ送付致しました。

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

1. 新たな過疎対策法を制定すること。その際、現行法第33条に規定するいわゆる「みなし過疎」と「一部過疎」を含めた現行過疎地域を継続して指定対象とすることを基本としつつ、過疎地域の指定要件、指定単位については、過疎地域の特性を的確に反映したものとすること。

2. 過疎地域において特に深刻な人口減少と高齢化に対処するため、産業振興、雇用拡大、子育て支援等の施策を推進すること。

3. 住民が安心・安全に暮らせるよう、医療の確保、公共交通の確保、教育環境の整備等、広域的な事業による対応も含めて推進すること。

4. 過疎地域においても、高度通信等社会の恩恵を享受できるよう、情報通信基盤の整備や財政支援措置を講じること。



村議会議長
田中博治

日頃は、村議会に対し、村民の皆様よりご指導ご理解を頂き、お礼を申し上げます。

▽新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、安倍総理から2月27日に全国すべての小中高校などについて、臨時休校とするように要請があり、それに伴い村民の皆様には、ご協力をお願いしているところであります。また、本年7月に開催を予定していましたが、延期すると決定されました。

新型コロナウイルス感染者は、東京、大阪でも日々急増しており、もし村職員が感染した場合、村の機能を維持するためにどのように対応して行くのか

シミュレーションをしています。

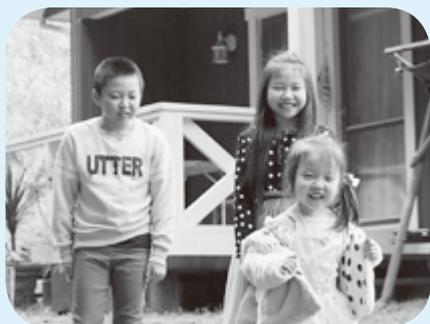
▽3月24日開園間近の認定こども園「げんきこども園」を議員で視察を致しました。色々な遊具がある園庭にでき、金剛山一帯が眺望でき、素晴らしい施設が完成したと安堵しました。未来を担う子どもたちがこの地域で、元気に健やかに成長することを応援していきます。



全員協議会報告 令和2年3月17日

- (案件)
1. 工事又は製造の請負契約報告書について
 工事名・村道小吹西峯線舗装工事
 村道森屋桐山線拡幅工事
 村道水分東線舗装工事
 2. 監査結果報告の提出について
 ・ 監査対象課
 定期監査…健康福祉課、観光・産業振興課、施設整備課
 行政監査…施設整備課
 ・ 監査期間…令和元年10～12月
 ・ 監査結果
 概ね適正に執行されていると認められたが、各種委員会の開催内容や出欠の内容がわかる資料の作成がない等の不備が見受けられた。
 3. 千早赤阪村生活排水処理計画中間見直し報告について
 ・ 生活排水の適正処理の推進を図るために、各処理施設の特性を生かしながら、計画的な整備を行うことが重要となる。
 4. 千早赤阪村空家等対策計画(案)について
 ・ 所有者の8割は利用や解体の意思があるが、約84%が空き家の状態で3年以上放置されている。
 5. 道の駅「ちはやあかさか」の運営について
 ・ 検討委員会の経過とワーキンググループ概要の報告があり、道の駅と直売所のそれぞれの目的、役割に基づく取り組みを充実させ、双方の協力連携を深めていくとの結論であった。

今月の表紙



北浦 大和 くん
(きたうら やまと)
11歳9ヵ月

北浦 結姫乃 ちゃん
(きたうら ゆきの)
9歳10ヵ月

北浦 綾乃 ちゃん
(きたうら あやの)
4歳3ヵ月

いつまでも3人仲良く、人との絆を大事にして育ててください。
父：幸治 母：直美

議会だより第131号の訂正とお詫び

議会だより第131号で誤りがございましたので、訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

P2.12月定例会議決結果

- ・ 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める請願書について
誤) 原案可決 正) 原案不採択

表紙写真 大募集!!

千早赤阪村議会だよりの表紙を飾っていただけるお子様の写真を募集しています。

【募集内容】
0歳から小学生程度のお子様の写真。(複数人でもかまいません。)

【応募方法】
写真掲載ご希望の方は千早赤阪村議会事務局までお電話またはE-mailにてご連絡ください。
議会事務局 ☎ 0721-26-7168
E-mail iken@vill.chihayaakasaka.lg.jp



買い物等困難者対策は



令和2年度より「タクシーの利用料助成」を本格実施



千福清英 議員



【問】高齢化による運転免許の返納が進むなか、今後移動手段がなくなる方が多くなり、いっそう行動範囲が狭くなる。村内各地域においても、買い物等困難者が増えると思われる。

村では、昨年度よりタクシー料金の補助等が実施されているが、今後、公共交通を含めさらなる工夫が必要と考えるがいかがか伺う。

【答】本村では、「村民がいきいき暮らすことができ、将来にわたって利用される持続可能な公共交通体系を構築する」ことを目的として、村地域公共交通協議会を設置、また公共交通総合計画を策定し、進めている。

村では交通不便地域の解消と高齢者の移動手段の確保、買い物困難者対策としてタクシーの利用料補助を2カ年、実証実験を行い令和2年度より本格実施とする。

バスへの利用料補助についても、協議会において議論を進め、令和2年度より助成を行う。

【問】一部の地域において地域住民による移動支援をされているが、これらに対し村からの支援等を行う考えはないのか伺う。

【答】村の総合交通計画の取り組みの一つとして地域住民との「協働」を挙げており、非常にありが

たいと考えている。今後、方式や維持・継続できる仕組みなども含め、情報提供やアドバイスなど可能な支援は行っていきたいと考えている。

【要望】地域住民との「協働」という観点からも、様々な課題はあるうかと思いが、高い意識をもって取り組んでいる地域住民に対し、行政としてできる限りの支援を要望する。

上下水道管の老朽化対策は

【問】公共下水道の普及推進により、老朽化した上下水道管も随時更新が進んでいると思うが、いまだ従前の古い鉄管のままの地域があると聞いている。

【答】上水は現在、府水道企業団のもとで管理されているが、今後の更新計画はどのようになっていくか伺う。



二河原辺低区配水池

【問】また、下水管の状況はどうか。また、村の財政負担はどのように推移していくのか併せて伺う。

【答】大阪広域水道企業団によると、上水道の老朽管の比率は全体の4割程度となっている。更新計画については令和2年度に作成すると聞いている。財政負担については、人口減少などもあり今後は増額の見込みである。

【答】下水道施設は、一部整備から50年が経過するところから更新を検討する時期をむかえているので、

点検・調査を実施し更新の予定だ。

【答】経営状況については、人口減少などもあり、有収水量が減少傾向にあるため収入増が見込めない状況にある。来年度からは、公営企業会計への移行に着手し使用料の改定を含めた経営を検討していく。

【要望】いずれにしても、人口減少などで負担の増加は否めないが、交付金等の国費の活用や計画的な実施で低額となるよう要望する。

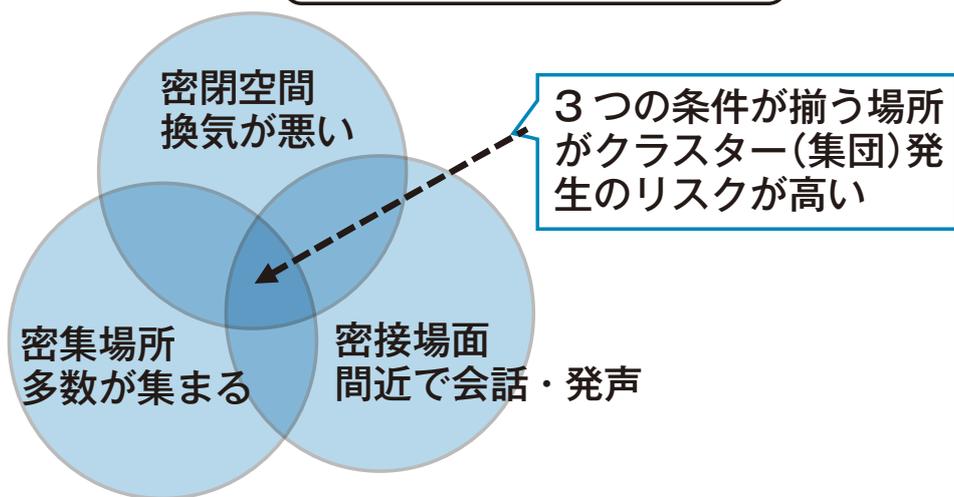


コロナウィルス感染防止策の 対応について



臨時休業に伴う学童開設の財政負担は ない

3つの密を避ける



関口ほづみ議員

問 ①学童の臨時開設について、国で全額措置が検討され、新たな負担は生じないものと考えます。②高齢化率の高い村で、村民の健康、安全を守るため対応した。受託者に経緯を説明し、今後の対

答 安倍首相が2月28日「一律休校」を突如表明したことで、全国で混乱が生じた。自治体が判断できるようにすべきでなかったか? 「1〜2日の準備期間があればよかつた」など、急な対応に村も大変苦労した。3月2日、村長と教育長に緊急申し入れを行ってきたが、次の項目と今後の対応について伺う。①学童は朝から開設していただいている。学童や保護者への新たな負担をさせないこと。②近隣の道の駅や買い物施設は閉鎖していない。販売部門だけでも開所すべきでないか。また休業補償を求める。

問 4月から、バスの運賃補助も実施することに。地域公共交通の充実は、

地域公共交通の 充実に向けて

③学校が始まれば、登校するの毎日検温が必要だ。各教室に体温計を備えること。③国保料や税金、公共料金納付期限の延長。

答 令和2年度から、既存公共交通の利用促進施策として、バス利用料助成を行う。今後も最適な地域公共交通を目指し、地域公共交通協議会の意見を聞きながら進める。

高年齢化社会の中で重要課題だ。村でも金剛バスのくすのきホールへの乗り入れ、森屋行きを中学校下まで延伸が行われた。バス・タクシー補助は75歳以上、障がいのある人、妊産婦などに限定され、車がなく75歳未満の人は対象外だ。平成28年、定路方式とデマンド方式による実証運行が実施された。定路方式は、いきいきサロンやまゆりから各地区・公共施設をまわり、オークワまで巡回した。定路方式はだれでも利用でき、今も望まれている。村の地域公共交通事業について、今後の計画について伺う。



土砂災害対策について



危険箇所を把握し、点検に努める



藤浦 稔 議員



危険箇所

【問】令和2年2月神奈川県逗子市で、民有地の土砂が崩れ、通学中の女子高校生が巻き込まれ死亡

するとう痛ましい事故が発生した。事故現場は急傾斜地で「土砂災害警戒区域」に指定されていた。

村内では、小・中学生が通学する通学路などで「土砂災害警戒区域」などに指定されている危険な箇所はないのか伺う。

【答】令和2年1月現在、村内には「土砂災害警戒

区域」に指定されているのは265カ所。「土砂災害特別警戒区域」の指定は253カ所で、そのうち通学路に関わるのは65カ所となる。

【問】今後、危険箇所の調査を行い必要な対策工事などを行う計画はあるのか。

【答】村道の維持管理の際に危険箇所などを把握し、点検などに努めていく。

【要望】危険な箇所については、村民の声を聞いて早急に対処されることを要望する。

森林整備の促進について

【問】全国的な状況と同様に村でも戦後造林された人工林を中心に、手入れされず放置されたままの入会林野（分け山）も多く見られるが森林の現状を伺う。

【答】森屋地区のほか分け



適切に手入れされていない分け山

山全体については、関係者の高齢化・相続・売買のほか、権利関係が複雑になって、所有者や境界も明確でないのが実態である。

【問】今年度には、森林環境譲与税が開始されたが、その活用状況を伺う。

【答】森林組合などと連携

【要望】是非とも、境界の明確化とともに間伐などの森林整備を進めていただきたい。



問

新・山中八策の新たな挑戦の成果は

答

概ね8割は実行できた

山形研介 議員



楠公誕生地

問 4年間の成果は、①いかに。②どうだったのか。③自己評価するなら何点と思うか。④過疎から脱出できたのか。⑤八策の内、何策実現できたのか。

答 実績として、地区が行う道路沿いの樹木の伐採費用の補助、高規格救急車の導入、新庁舎への建設着手、給食費の補助、高齢者のタクシー利用助成等である。

また、地域おこし協力隊の導入や民間人による「鳥獣被害対策実施隊」の結成。「ちはや姫」のブランド化。役場内「簡易郵便局」の開設。

問 16年間村長として務められた中であまり触れられていない政策があり、その点を問う。文化財保護行政をどう充実及び発展させたのか、文化財は、村の観光活用や村づくりの一因として、実なる活性化を図り充実していくには、人事の増援や予算配分が必要となる。村長の考えは。

答 文化財の観光活用には、交流人口の増加や産業、観光振興、文化財の活用など連携した地域の活性化を図るため、「楠公さん」をテーマとした大河ドラマ誘致協議会が設立され、活動を行っている。

だ道半ばであり、希望ある未来へ向けた道筋をつけることが私の役割だと考える。

残りの人生の全てを村民の皆様には捧げる覚悟で村長選挙への出馬を決意した。

要望 観光につながる歴史、文化財の活用を提案する。

- ・楠公誕生地を国史跡に指定すること。

- ・楠公史跡保存会と連携強化で、本年度保存会の事業として、「城郭サミット2020 in 千早赤阪村」の開催を共催してはいかかがか。
- ・旧千早小学校跡の「楠公像」を楠公誕生地の広場への移設を、そのためには、文化財行政の充実強化。また、大河ドラマ誘致も含め、歴史、文化にスポットを当て、観光振興、地域活性化に取り組んでいくよう要望する。

大阪広域水道企業団との事業統合。更に、子育て教育環境の充実など、福祉の向上を図り村民の皆様が安全、安心して暮らせるよう取り組み等、概ね8割は、実行できた。過疎からの脱却は、ま

は、交流人口の増加や産業、観光振興、文化財の活用など連携した地域の活性化を図るため、「楠公さん」をテーマとした大河ドラマ誘致協議会が設立され、活動を行っている。



旧千早小学校跡の「楠公像」



遊休財産の有効利用を



一時的な民間貸付を含め検討を進めていく



田村 陽 議員



分校跡地正門前

【問】平成29年に「千早赤阪村公共施設等総合管理計画」が策定されている。そこに分校跡地の有効利用について検討するとあるが、その後の検討は。また小吹台方転地について、バスが運行しない期間には民間でも利用できるようなならないか。

【答】分校跡地は、平成30年度に境界確定請求事件を提訴し、裁判所の判決により境界が確定した。しかし、公図上に敷地内を分断する水路があり、その点について地元との調整が整わないため土地の一体的な利用は困難な状況にある。次に小吹台方転地については、現在、中学校通学バスの方転地として利用するとともに、千早小吹台小学校の参観や運動会などの行事の際の駐車場に利用しており、民間には貸し付けていない。

【問】有効利用は難しい状況にあるとのことだが、空き地として放置するのはあまりにもつたいない。たとえば村民が一時的に利用することはできないか。

【答】一時的な民間貸付については、今のところ仕組みやルールを定めていない。今後、一時的な民間貸付を含めた有効活用について検討を進めていきたい。

地域おこし協力隊の活動は

【問】昨年9月議会一般質問にて地域おこし協力隊の新規募集について要望したが、来年度募集予定とのこと、迅速な対応に感謝している。次の地域おこし協力隊はどのような活動内容で

【要望】村民の活動を後押しするという意味でも、一時利用に向けた仕組みづくりをお願いしたい。



小吹台方転地

【問】募集を行うのか。

【答】近年木材価格の低迷により手入れが行き届かない人工林が増加するとともに森林を支える担い手不足が進み、このままでは村の林業が衰退するだけでなく、地域の活性化が失われることになる。

【答】近年木材価格の低迷により手入れが行き届かない人工林が増加するとともに森林を支える担い手不足が進み、このままでは村の林業が衰退するだけでなく、地域の活性化が失われることになる。林業における課題が山積する中、これらの課題に村と一緒に挑戦する人材を募集したいと考えて

【要望】本村は財政的に非常に厳しい局面を迎えている。そのような現状認識のもとで、それでも本村がさらに発展していくためには、国の支援制度をより有効に活用していくことが不可欠だ。住居など様々な問題があることは承知しているが、今後も継続的に地域おこし協力隊を募集してほしい。



井上浩一 議員

問 災害等、非常時の対応を考える

答 設備改修等、検討する



くすのきホールの非常用発電機

問 異常気象や大地震に備えて様々な対策を行っているが、村では過去の教訓から改善等はされているのか。

答 ①平成29年の台風21号により「くすのきホール」が停電した、原因と対策は。②避難所にはマニュアルはあるのか。③備蓄品は定期的に取捨選択し住民の要望は反映されているのか。④液体ミルクの導入予定はあるのか何う。

問 避難所の電源が簡単に入を進めてゆく。

問 SDGsとは、国連で採択された2030年を目指し解決すべき17の

SDGsの理解と推進

進める。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs (エスディーゼーズ) 17の目標

にダウンでは問題だ、対策は。マニュアルは拝見したが使用後に検証はしたのか。備蓄品は災害弱者の意見は反映できないか何う。液体ミルクは有難く思う、粉ミルクと併用で願う。

答 昨年4月に関電と協議、優先復旧施設とし確認、協力連携してゆく。マニュアルの検証はしていないが使いやすい工夫してゆく。備蓄品については住民や事業者に自らの必需品を準備する必要等の啓発を進めてゆきたい。

要望 想定外の事態を考え、マニュアル等も「タイムライン」を活用したりできる限りの減災・防災の対策を願う。

問 周知を進めるため、職員の名刺や役場案内表示にSDGsのアイコンを入れる等の工夫はどうか。

答 ルールも必要、今後総合計画等で検討する。また、村広報等も活用する。

活動報告

令和2年1月28日、マッセ大阪において「市町村トップセミナー」が開催され、府下の市町村長や議員も参加しました。

「人口知能AIがもたらす人間と社会の未来」

武蔵野学院大学・大学院教授、人間性脳科学研究所所長の澤口俊之氏から「AI時代に求められる脳力」と題し、人間とAIが協働するAI社会に適応するために求められる能力について、講演がありました。澤口氏をどこかで見た人だと思いつつ、話を聞いているうちに「ホンマでっか!?TV」や「所さん！大変ですよ」などに出演されている人だとわかりました。

脳の話では、「前頭前野は脳の監督役としてとても重要であること」と。

脳トレよりも有酸素運動で脳が若返る。歩行と走行、スクワットやダンスが良い。ボランティヤや買い物、笑うだけでもOK。かわいい写真を見ることが、樂觀的になることなどで運も良くなる」な



ど高齢になっても前向きに生活することが大事ではないか。行政に求められることは、そういうことができる環境を整えることではないかと感じました。

国立情報学研究所・総合研究大学院大学教授の山田誠二氏からは「AIの現状と人-AI協働の可能性」と題し、人間とAIが協働し共に生きる時代において必要なことは何か、またAI時代の働き方や役割分担、人間とAIの協調について講演がありました。

雑感

令和2年になって、中国「武漢」から新型コロナウイルスが猛威をふるい「アッ」という間に世界中に拡大した。

私自身、大変なことになっていると恐怖を感じながらも「自分は大丈夫」と過信していたところもあった。

しかし3月29日、日本を代表するコメディアン志村けん氏がこの病気で亡くなられたことにより、見えない脅威が迫っ

ていると感じたのは私だけではない筈である。

また、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、延期が決まっていた東京五輪の開催日程が、来年7月23日開会式を行うという明るいことが決まった。

だが、代表内定者および今から決定する選手にとつて、再スタートを切ることになるが、今後の代表選考を巡っては、いろいろな課題が山積みみされているのではないかと心配する。

M・F

議会を傍聴 しませんか？



次回定例会の予定

5月22日(金)から6月5日(金)です。
5月22日 本会議
6月5日 本会議（一般質問）
上記日程はコロナウイルスの状況により変更になる場合があります、傍聴についても、お断りすることがあります。

(議会事務局 ☎0721-26-7168)

議会事務局は保健センター2階、議場は3階集団指導室兼議場です。

広報編集委員会

委員長	田村 陽	副委員長	関口ほづみ
委員	井上浩一	委員	千福清英
議長	田中博治		